

太子ことばを探せ!③

文 瀧北りえ
太子町男女共同参画推進委員

「こたつ」

「あんな、寒いやろ? 昨日は『こたつ』入れたん?」結婚して初めて正月帰省をした私に義母は言った。

「こたつなら今入ってますけれど…」

実家には茶の間に大きいサイズのこたつがあった。夫や息子達が幼少のころに貼ったタイガースの掛布選手や、ビックリマンチョコのシールが板の隅にくっついている。「ちやうちやう。こたつ! 布団に入れるやつ」「えっ? こたつなんて絶対布団に入りませんよね?」

そこに夫、「こたつは関東なら『あんか』のことやな。こっちではあんか言わんな。昔は練炭を専用の入れ物に入れて布団に

入れて。足がつくと火傷したりしてな」しばらく義父母と夫で懐かしのこたつについて盛り上がっていたが、私の謎は深まるばかり。こたつは猫が丸くなるやつ。それ以外にあるのだろうか?

調べると、あんかは行火と書き、一人用暖房器具で布団などに入れ直接手足の暖を取るもの。地域や世代によっては「こたつ」「足炬燵」と呼ばれることもある…だそう。なんでも省略してしまう関西人、足炬燵の足を略してしまっただろう。今でもこたつ言われると「あんかです!」と言い返したくなる私であった。



次号

俳句バトル

抽選でオリジナルグッズ当たる!

第4号(最終号)特集「古民家」

「たのしいたいし」は、次号で最終号を迎えます。特集は、町内にある住み継がれている家。「古い」ということの価値を見直すきっかけになるかも?

編集メンバーの功と加尾(句会垂流里所属)が毎月お題にチャレンジしています。

第2号の結果は…

16票 冬の朝響く牛乳瓶の音 加尾
12票 山茶花の四辻に錆びし三輪車 功

ということで、加尾の勝利でした! また僅差。1勝1敗、おもしろくなってきました。そして、第3号のバトルはこちら。今回のテーマ「お店」にまつわるお題です。

どちらがよいか、そして選んだ理由(選評)もぜひ教えてください。みなさんからの投票をお待ちしています~!!!

第3号のお題: 店先にて

- 1 じゃあまたとドアを開ければ雪催
- 2 ガチャガチャの前の駄々こね冬の空

あつという間に残りわずかとなった「たのしいたいし」みなさんからのご意見・ご感想をお待ちしています。ご回答いただいた方の中から抽選で10名様に「たのしいたいし」オリジナルステッカーをプレゼントします。



読者アンケートにご協力ください。

- ① 今回の「たのしいたいし」で良かった記事(いくつか)
- ② 俳句バトル(気に入った句を書いてください)
- ③ 今後の特集記事に関するネタ(あればぜひ教えて下さい)
 - ・太子町内の「古民家」★次号に間に合うのは2/8まで!
 - 時代の移り変わりを見守ってきた家、長屋門・庭・納屋など古い部分など
- ④ ご感想やご意見など
- ⑤ お名前・ご住所(ステッカー希望の方は必須)

ご連絡方法

いずれかの方法でご連絡ください

- ・ホームページの連絡フォーム: QRコード→
- ・投書箱(太子町立図書館カウンターにあります)
- ・郵送: 671-1592 太子町 280-1 「たのしいたいし」係
- ・FAX: 079-276-3892 (「たのしいたいし」係とお書きください)



名前が気になるあの女将

太子町 1324-37
TEL 079-276-0109

お好み焼き
ゆり



今回はすてきな女将の2店をご紹介します。おしゃれな2人の気になるヘアスタイルについても聞いてみました!

お好み焼き「ゆり」のママは、長崎出身。ドライブインうかいやで働いていたこともあるとか。鶴のバス停あたりは、昔「銀座通り」と呼ばれ、東芝や新日鉄のお客さんでいっぱい深夜まで営業してたそう。3代続けて通う人もいます。髪を切るの、お隣のあだち理容店。「ここはコミュニケーションの場で、いろんな人が集まる店。元気なうちはずっとやっていきたい。お客様が宝物」と笑うママに会いに行きたい店。



太子町 1320
TEL 079-276-6729

手打ちうどん
大黒



不二家(今はしゃぶ葉)の近くにあった「黒べゑ」を移転して今の店名になったという「大黒」。値段も上げず味も品質も変えないように貫いて、口コミでお客様が広がっているお店。黒べゑ時代は、ヒールとパンツスタイルでかっこよく仕切っておられたという邦子ママ、若い頃から美容師が飲食店経営をやりたくて、調理師免許を取ったそう。リーゼント風のカッコいいヘアスタイル、カットも染めもご自分で!

ゆりママと邦子ママ、若い頃は一緒にカラオケに行ったりもして、女優さんと宝塚スターさんみたいやったそうですよ~。

1月13日より「緊急事態宣言」が発出されています。一人ひとりが「うつらない・うつさない」という強い思いで今一度感染拡大防止に取り組みましょう。太子町では、新型コロナウイルス感染症対策本部が随時対策を取っています。詳しくはホームページが企画政策課窓口でお問い合わせください。

文・写真 柳内真理子
郵便局員

令和2年度 兵庫県太子町新型コロナウイルス感染症対策提案型協働事業
発行人: sija 編集室(代表 長谷川香里)



4ヶ月だけのフリーペーパー



太子のメインストリートと、気になるお店。

レストラン、ファストフード、ドラッグストア、電器店、クルマのディーラーなどがぎゅっとひしめく太子町のメインストリート。

国道2号線を東から西へ、青山の峠の途中から林田川の手前まで続きます。この道、青山を越えやすく、姫路バイパスの高架をくぐると、国道179号線と名前を変えます。さらに鶴の交差点の西は、県道725号線に。そうです、この道、出世魚のようにとんとん名前を変えていくのです! 歌舞伎役

者や噺家が名前を変えるように、相撲取りが名前を変えるように。そうそう、あの聖徳太子だって、厩戸皇子だったのでしたっけ。さすが、太子町! メインストリートにも太子の教えが受け継がれているんですね!?

おっと、最初からすっかり脱線してしまいました。太子のメインストリートは、太子の人だけでなく周辺地域から必要とされている商業エリア。本題に戻って、今回のテーマは「お店」です。

知る人ぞ知るお店、昔から通ったお店…、編集会議では、いろんなお店の名前や思い出話が飛び交いました。限られた紙面、ここは「たのしいたいし」らしく、難しく考えず編集メンバーの気になるお店に取材に行こう! ということで、情報誌とはひと味もふた味もちがう特集となりました。

緊急事態宣言発出に伴い不要不急の外出、対面でのおしゃべりがむずかしい状況ですが、まずは紙面でお楽しみいただければと思います。また、ひとりでの散歩のお供になるかも、と、気になる看板特集を企画してみました! 町内をじっくり探してみてください。

気になる看板コレクション

編集メンバーが気になる看板をパシャリ。答えは自分で見つけてね! 全部わかれば、かなりの太子通であることまちがいない!!!



裏に回ると…

裏に回ると…